

令和 8 年 生坂村議会

第 1 回 臨時会 会議録

令和 8 年 7 月 9 日 開会

令和 8 年 7 月 9 日 閉会

生 坂 村 議 会

令和8年第1回 生坂村議会臨時会議事録（7月臨時会）

1日目（7月9日）

○補正予算案 1件

・令和8年度生坂村一般会計補正予算（第3号）

・開会	4 P
・村長あいさつ	5 P
・提出議案の朗読説明	7 P
・質疑・討論・採決	7 P
・村長あいさつ	9 P
・閉会	10 P

令和 8 年第 1 回 生坂村議会臨時会

令和 8 年 7 月 9 日
午前 10 時 00 分 開会

議 事 日 程

日程	議 案 番 号	件 名	備 考
		開 会	
1		会議録署名議員の指名	
2		会期の決定	
3	議案第48号	令和 8 年度生坂村一般会計補正予算【第 3 号】	
		質疑・討論・採決	
		閉 会	

出席議員（8名）

1番	進 藤 彩 君	2番	望 月 一 将 君
3番	島 幸 恵 君	4番	山 本 吉 人 君
5番	藤 澤 幸 恵 君	6番	太 田 譲 君
7番	平 田 勝 章 君	8番	市 川 壽 明 君

欠席議員（なし）

説明のため出席した者

地方自治法第121条の規定により朗読のため出席した者の職氏名

村 長	藤 澤 泰 彦 君	振 興 課 長	眞 島 弘 光 君
副 村 長	牛 越 宏 通 君	住 民 課 長	坂 爪 浩 之 君
総 務 課 長	中 山 茂 也 君	健康福祉課長	松 沢 昌 志 君
教 育 長	藤 澤 正 司 君	教 育 次 長	藤 澤 保 君

事務局職員出席者

議会事務局長	平 林 邦 寿 君	書 記	田 中 翔 太 君
--------	-----------	-----	-----------

開会 午前10時00分

◎開会及び開議の宣言

○議長（藤澤幸恵君） 起立。礼。着席してください。

○議長（藤澤幸恵君） これより、令和8年第1回生坂村議会臨時会を開会します。

本日の開会に先立ち申し上げます。本臨時会はクールビズのため、暑いようでしたら、上着等はお脱ぎください。また、感染症予防対策のため、適宜、休憩、換気を行い、マスクの着用につきましては、個人判断とします。

○議長（藤澤幸恵君） これから本日の会議を開きます。

◎議事日程の報告

○議長（藤澤幸恵君） 本日の議事日程は、配付してあるとおりです。

◎会議録署名議員の指名

○議長（藤澤幸恵君） 日程1、会議録署名議員の指名を行います。

会議規則第125条の規定により、4番 山本議員、6番 太田議員を指名します。

◎会期の決定

○議長（藤澤幸恵君） 日程2、会期の決定の件を議題にします。

お諮りします。本臨時会の会期は、本日の1日間にしたいと思います。

ご異議ございませんか。

（異議なしの声あり）

○議長（藤澤幸恵君） 異議なしと認めます。

よって会期は本日の1日間に決定しました。

◎提出議案の報告

○議長（藤澤幸恵君） 本臨時会に提出されている案件は、議案第48号「令和8年度生坂村一般会計補正予算（第3号）」の予算案1件であります。

◎村長挨拶・提案理由の説明

○議長（藤澤幸恵君） ここで、村長あいさつ並びに提案理由の説明を求めます。

○村長（藤澤泰彦君） 議長。

○議長（藤澤幸恵君） 村長。

○村長（藤澤泰彦君） 皆さん、おはようございます。

本日は、令和8年第1回生坂村議会臨時会を招集いたしましたところ、議員各位には何かとご多用の中、ご出席を賜り、誠にありがとうございます。また、日頃から村政各般にわたり深いご理解とご支援、ご協力をいただいておりますことに対し、心から感謝を申し上げます。

梅雨明けが待たれる季節となりましたが、日ごとに暑さも厳しさを増しております。議員各位におかれましては、健康には十分ご留意いただき、引き続き村政発展のため、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

さて、去る7月3日に「令和8年度第1回生坂村地域脱炭素移行・再エネ推進事業評価委員会」を開催いたしました。委員には、学識経験者をはじめ、地域代表、事業者代表、長野県の関係者の皆様にご就任いただき、本村が進める脱炭素先行地域づくり事業について、多角的な視点からの評価と貴重なご意見をいただきました。

委員会では、令和7年度事業の進捗状況と令和8年度の事業計画について説明し、住宅や公共施設、民間施設への太陽光発電設備や蓄電池の導入、自営線マイクログリッドの整備、小水力発電施設の建設、省エネルギー設備の導入、木質バイオマスの活用など、各事業がおおむね計画どおり進捗していることを報告いたしました。

また、民生部門における二酸化炭素排出量実質ゼロの達成率は27.15パーセントとなり、2030年度目標の達成に向け着実に前進していることを報告するとともに、地域エネルギー会社「株式会社いくさかてらす」と連携した取組が、地域内でのエネルギー循環や地域経済の活性化にもつながっていることを説明いたしました。

委員の皆様からは、マイクログリッドや脱炭素事業の仕組み・効果について、村民の皆様へより分かりやすく情報発信を行うことや、高齢者世帯、太陽光発電設備や蓄電池を設置できない世帯への支援、災害時の電力確保、EVや充電設備の利用促進など、多くの貴重なご提言をいただきました。

その一方で、PPA方式による太陽光発電設備の導入件数については、地域との丁寧な合意形成を図りながら着実に事業を進め、契約数が増えていることが高く評価されました。また、本村の

脱炭素への取組は全国的にも先進的な事例であり、今後は県内外へ積極的に情報発信を行い、その成果を広く共有していくべきとの評価もいただいたところでございます。

本村が進める脱炭素先行地域づくり事業は、二酸化炭素排出量の削減にとどまらず、防災力の向上や地域経済の活性化、さらには将来を担う子どもたちへ持続可能な地域を引き継ぐための重要な取組でございます。今回いただいたご意見や高い評価を励みとし、村民の皆様への丁寧な説明と理解促進に努めながら、全国のモデルとなる脱炭素先行地域を目指して、引き続き着実に事業を推進してまいります。

それでは、本臨時会に提出いたしました議案についてご説明申し上げます。

本臨時会にお願いする案件は、「令和8年度生坂村一般会計補正予算（第3号）」の1件でございます。

今回の補正予算は、歳入歳出それぞれ469万7000円を追加し、予算総額を37億954万2000円とするものであります。

また、放送ネットワーク整備事業につきましては、総務省との協議の結果、債務負担行為ではなく単年度ごとの予算執行により事業を実施することとなったため、債務負担行為を廃止するとともに、地方債限度額を190万円追加するものであります。

歳出では、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の追加交付を受け、村政懇談会の席で現金給付ができないかとの意見がございましたが、交付基準において現金給付による支援は対象外とされていることから、交付金の趣旨を踏まえ、交付額及び早期の予算執行を考慮し、住民生活の支援と地域経済の活性化を図るため、「いくさかマル得商品券スーパープレミアム」を500セット増刷する経費を計上しております。

また、大日向北平地区送配水管布設替え工事に係る地元説明会で要望のありました老朽化した消火栓の改修を実施し、地域の消防・防災力の向上を図ることとしております。

いずれの事業も、住民生活の安全・安心の確保と地域経済の下支えを図るため、速やかに実施する必要があることから補正予算をお願いするものであります。

議員各位におかれましては、提案いたしました議案の趣旨をご理解いただき、慎重にご審議のうえ、原案どおりご採択賜りますようお願い申し上げ、開会にあたってのごあいさつといたします。

○議長（藤澤幸恵君） 提案理由の説明が終わりました。

◎日程3・議案第48号

○議長（藤澤幸恵君） 日程3、議案第48号「令和8年度生坂村一般会計補正予算（第3号）」を議題にします。

担当者の朗読説明を求めます。

○総務課長（中山茂也君） 議長。
○議長（藤澤幸恵君） 総務課長。
○総務課長（中山茂也君） （総務課長 朗読説明）

○議長（藤澤幸恵君） 以上で、議案の朗読説明を終わります。

◎質疑・討論

○議長（藤澤幸恵君） 議案第48号について、質疑・討論に入ります。

質疑・討論のある方の発言を許します。
初めに質疑はありませんか。

○3番（島幸恵君） 議長。

○議長（藤澤幸恵君） 3番、島議員。

○3番（島幸恵君） 3番、島幸恵です。議案第48号「令和8年度生坂村一般会計補正予算（第3号）」3ページの歳出、商工費についてお尋ねいたします。

こちら地域内循環の物価高騰に対応するため、商品券を500セット追加という議案ですが、1万円で1万5000円分の生坂村内での消費ができるというプレミアムなもので、すごく待ち望んでいる方も多いのですが、やはり物価高騰で困窮している低所得の方たちへの支援に、直接繋がるということはお考えでしょうか。

○振興課長（眞島弘光君） 議長。

○議長（藤澤幸恵君） 振興課長。

○振興課長（眞島弘光君） 質問にお答えいたします。

低所得者の方へのということでございますが、このプレミアム商品券については、物価高騰の影響を受けております住民生活への支援。それから、地域内の循環を目的として行う事業となっておりますので、その点については、支援できるのではないかなというふうには考えております。以上、答弁いたします。

○議長（藤澤幸恵君） 他にありませんか。

○3番（島幸恵君） 議長。

○議長（藤澤幸恵君） 3番、島議員。

○3番（島幸恵君） 3番、島幸恵です。再質問いたします。

こちらは本当に待ち望んでいる方も多いのですが、高齢のお一人暮らしの方とか、例えば

商品券そんなに何冊もいないなというようなご家庭があり、あとは村政懇談会においても、先ほど村長の挨拶にも入っていましたが、村の中だけではなく、他でも使えるようにしていただきたいとか、そのようなご意見もございました。

それで、款項の商工費ではなく、他のところでというようなご提案もさせていただいたのですけれども、やはり低所得の方を、困窮している方を救うということで、これが最善のものであったということでしょうか。

○副村長（牛越宏通君） 議長。

○議長（藤澤幸恵君） 副村長。

○副村長（牛越宏通君） はい。ただいまの質問にお答えいたします。

今回の交付金でございますけども、216万2000円でございます。

この金額もしっかりと考慮いたしました。

そして今回提案をする際に、村長、担当課長等々で色々相談をしました。

村政懇談会で出た意見についても、当然相談をしました。

今回については、この金額なり色々なシステム改修等も考えながら、今回の提出した内容が一番ベストとして考えて提出をしております。以上です。

○議長（藤澤幸恵君） 他にありませんか。

○議長（藤澤幸恵君） 次に討論に移ります。

反対討論はありませんか。

○議長（藤澤幸恵君） なければ、賛成討論を省略し、討論を終わります。

◎採決

○議長（藤澤幸恵君） これより採決に入ります。

議案第48号「令和8年度生坂村一般会計補正予算（第3号）」について採決します。

議案第48号を、原案の通り決定することに賛成の方は挙手願います。

○議長（藤澤幸恵君） 挙手全員です。

よって、議案第48号は原案の通り可決することに決定しました。

◎村長挨拶

○議長（藤澤幸恵君） 以上で、本臨時会に付された日程は全て終了しました。

本日の会議を閉じます。

ここで、村長の挨拶を求めます。

○村長（藤澤泰彦君） 議長。

○議長（藤澤幸恵君） 村長。

○村長（藤澤泰彦君） それでは、議員各位には、本臨時会に提出いたしました「令和8年度生坂村一般会計補正予算（第3号）」につきまして、慎重にご審議を賜り、原案どおりご採択いただきましたことに、感謝を申し上げます。

今回の補正予算に計上いたしました事業につきましては、住民生活の安全・安心の確保や地域経済の活性化に向けた重要な取組であり、早期の事業執行に努めてまいります。加えて、本年度当初予算に計上しております各種事業につきましても、関係する皆様のご理解とご協力をいただきながら、現在、順調に執行を進めているところであります。引き続き、事業の目的や効果を十分に検証しながら、計画的かつ着実な村政運営に取り組んでまいります。

さて、先日開催いたしました福祉センター運営委員会においては、やまなみ荘のお風呂の熱源について、これまでのガスボイラーから木質チップボイラーへ更新した効果が報告されました。木質バイオマスを活用した運用が順調に進んでおり、燃料費についても従来と比較して現在、約2割の削減につながっているとの報告を受けました。

これは、脱炭素先行地域づくり事業の取組の一つとして、地域資源を有効活用しながら、環境負荷の低減と経費削減の両立を図る成果であり、今後もこうした取組を積極的に推進してまいります。

続きまして、今後予定しております各種事業につきましても、村民の皆様との協働を大切にしながら、着実に取り組んでまいります。

7月22日（水）からは「いくさかマル得商品券スーパープレミアム」の販売を開始いたします。物価高騰が続く中、村民の皆様の生活支援と地域内消費の喚起を図るとともに、村内商業の活性化につながる事業でありますので、多くの皆様にご利用いただき、地域経済の循環につながっていただきたいと考えております。

次に7月31日（金）には「絆づくり支援金選定委員会」を開催いたします。今年度は6団体から6事業の申請をいただいております。それぞれ地域の課題解決や交流促進につながる提案をいただいております。村民の皆様が主体となって取り組む活動を支援し、地域のつながりを深め、協働による村づくりをさらに推進してまいりたいと考えております。

さらに、8月8日（土）には「生坂村合併70周年・道の駅いくさかの郷7周年記念イベント」を開催いたします。当日は、あづみ野エフエムによる生放送をはじめ、明科消防署によるはしご車・救急車の展示、商工会青年部や松本山雅の出店、さらには脱炭素効果促進事業のPRなど、多彩な催しを予定しております。

この記念イベントを通じて、多くの皆様に生坂村の魅力を感じていただきながら、村内外の交流を広げるとともに、地域のにぎわいづくりやさらなる活性化につなげてまいりたいと考えており

ます。

最後になりますが、これから本格的な暑い季節を迎えます。全国的にも猛暑が続いておりますので、熱中症対策など健康管理には十分ご留意いただきたいと思います。

当村では、村民の皆様が安心して暮らし続けられる地域づくり、そして活力ある生坂村の実現に向け、引き続き様々な施策に取り組んでまいります。議員各位におかれましても、今後とも変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。閉会にあたってのごあいさついたします。

本日は誠にありがとうございました。

◎閉会の宣告

○議長（藤澤幸恵君） 本臨時会の会議に付された事件につきまして、慎重審議をいただいたことに対し、深く感謝申し上げます。

以上をもちまして、令和8年第1回生坂村議会臨時会を閉会とします。

○議長（藤澤幸恵君） 起立。礼。大変ご苦労さまでした。

閉会 午前 10時 26分

地方自治法第123条の規定により署名する。

令和8年7月9日

議 長

藤澤 幸恵

署名議員

山本 吉人

署名議員

大田 裕